

否確認など高齢者施策と一体で実施
・移動支援事業、地域活動支援センター事業、
障害者生活支援事業など

新難聴児補聴器給付事業 (渡邊心身障害者基金) **2百万円**

・身体障害者手帳の交付対象とならない中等度の難聴児に対し補聴器を支給

経営課題2 身近なところで相談・支援を受けられ、いきいきと生活を送るための取組み

【権利擁護のシステムの確立】

判断能力が不十分な状態であっても地域において自らの意思に基づいて生活ができるよう、地域の力を活用したしくみづくりや、高齢者・障害者虐待の早期発見や適切な対応、防止の取組みを推進する。

○成年後見支援センター事業の推進 **42百万円**
(27百万円)

市民後見人の養成、活動支援の充実

○障害者虐待防止事業 **5百万円**
(6百万円)

【自立のための就労などの支援】

障害のある人のひとりひとりの状態に応じた多様な職業訓練や資格取得の支援などにより、障害者の自立を支援する。

○障害者の就労支援

発達障害者就労支援事業 **4百万円**
(4百万円)

障害者福祉施設製品 (授産製品) 販売促進支援事業 **9百万円**
(8百万円)

市営地下鉄堺筋本町駅での展示・販売

新障害者短期職場実習事業 (緊急雇用創出基金) **15百万円**

本市各部署でのアルバイトによる職場実習を通じて、一般就労へ向けた支援を実施

経営課題3 地域住民の参画による地域力を高めるしくみづくり

【市民参画の推進】

誰もが地域福祉に関心を持って地域福祉活動に参画できるよう推進体制を整備する。

○次期地域福祉計画の策定

新第3期「大阪市地域福祉計画」の策定 **9百万円**

第2期計画 (平成21~23年度) の取組み成果を踏まえ、さらなる地域福祉の増進を図るため、24年度からの次期計画を策定

【地域におけるネットワークの充実】

市民、団体等がお互いにつながり、協力し合うことを通じて、より効果的な活動・事業が展開できるよう、地域のネットワークづくりの支援に取り組む。

○地域の特性に応じた活動などの支援による地域福祉の推進

地域福祉活動推進事業 **540百万円**
(551百万円)

地域福祉活動の充実を図るため、一部地域社会福祉協議会及び地域ネットワーク委員会の活動経費を地域に対する交付金へ転換

※()内は平成22年度当初予算額

※詳しくは大阪市ホームページをご覧ください。

バレンタインコンサートが開催されました

大阪市の地域活動育成事業の助成金を一部受けて2月13日にクレオ大阪西ホールでバレンタインコンサートを開催しました。

今年で4回目となりますが、年々申込も増え360名余りの参加をいただき会場はほぼ満席になりました。

第一部は“かんばにゆら”のピアノと歌ではじまりました。グループ名の“かんばにゆら”の花言葉とおり～感謝の思いを届ける～をテーマにクラシックのしっとりとした雰囲気の中かでバレンタインデーのメッセージが込められました。

次に、恒例となった東成育成園のダンスパフォーマンス。みんなの思いが弾ける元気なパフォーマンスです。日頃の練習の成果を存分にステージで披露していただきました。

第二部はNTT西日本吹奏楽団の演奏。今年はNTT西日本応援部の皆さんも参加していただき楽団員さんと一緒にAKB48のダンスも披露していきました。また希望者が参加できる指揮者コーナーではタクトを振る姿も堂々としていました。

